

次代の移動サービス実現に向けて
大阪府豊中市でEVバスによる自動運転の実証を開始

2025年3月19日

豊中市
関西電力株式会社
損害保険ジャパン株式会社
阪急電鉄株式会社

豊中市（市長：長内 繁樹）、関西電力株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：森 望）、損害保険ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：石川 耕治）、阪急電鉄株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：嶋田 泰夫）は、2025年3月26日から3月28日の3日間、豊中市で初めてとなるEVバスによる「自動運転レベル2^{*1}」の実証（以下、本実証）を実施します。

本実証では、自動運転対応の小型EVバスにて、豊中市新千里東町を走行するとともに、EV向けワイヤレス給電の社会実装に向けた調査を合わせて実施します。

このエリアでは現在、豊中市がグリーンスローモビリティ（低速で走行する電気モビリティ）「モビとよ」にて巡回走行しており、官民協働による千里ニュータウン地区の魅力向上に資する取り組みを進めています。

本実証を通じて得られた結果をもとに、今後は「自動運転レベル4^{*2}」のEVバスによる自動運転の実証を行い、行政と民間事業者が連携・協働した安全で利便性が高くかつ環境負荷低減を両立する、まちづくりに適した次代の移動サービスの社会実装を目指します。

*1 自動運転レベル2：ハンドル、アクセル、ブレーキの操作を部分的に支援した自動運転

*2 自動運転レベル4：特定条件下における完全自動運転

以上

別紙 本実証の概要

<実証期間>

2025年3月26日から3月28日

<走行ルート>

豊中市新千里東町（千里ニュータウン地区）

※走行ルートは当日の道路状況等により変更になる可能性があります。



<EVバス>

株式会社ティアフォー Minibus

車長 7.2m

自動運転時乗車定員 15名

自動運転時最高速度 35km/h



写真提供：株式会社ティアフォー

<実施体制・役割>

| 団体・企業名 | 主な役割 |
|--------------|---|
| 豊中市 | 実証実験フィールドの提供、近隣住民・警察・関係部局等との調整 |
| 関西電力株式会社 | 事業全体の企画・統括、EV向けワイヤレス給電の社会実装に向けた調査、車両走行管理 |
| 損害保険ジャパン株式会社 | 実証実験計画作成サポート、自動運転リスクアセスメント、自動運転専用保険の提供、車両走行サポート |
| 阪急電鉄株式会社 | 公共交通事業者としての助言・協力 |